

福永 伸哉

大阪大学大学院文学研究科 教授

デジタル技術を用いた高齢者に優しい考古学・遺跡体験システムの研究

本研究では、高齢者の間で関心が高い遺跡や考古学の発掘調査現場の様子を、居ながらにして体験できるデジタルコンテンツを開発し、いわゆる IT 時代の高齢者に対する文化資源活用の新たな方法を実践的に研究した。具体的には、研究代表者・分担者がここ数年進めてきた兵庫県川西市勝福寺古墳の発掘調査を通じて記録・収集された調査成果をデジタルコンテンツ化し、デザイン的な統一を図りながら CD 版「勝福寺古墳デジタル歴史講座」を作成した。そして、この CD を 60 歳代以上の熟年世代が中心となって活動している 3 つの市民歴史サークルに提供して、アンケート形式で評価してもらい、長寿社会における文化教材としての有効性や課題を検討した。その結果、こうしたデジタルコンテンツが熟年層における文化財活用の方法として斬新であり、今後コンピュータに慣れ親しんだ熟年層が増加するなかでさらに有効性を持つという評価を得ることができた。いっぽうで、学術用語やコンテンツの PC 上での操作のしやすさなどについて、いっそうの配慮が必要であるという課題も認識した。